

社会コミュニケーション学科

■入門

551001 社会コミュニケーション概論

【到達目標】

- ・社会コミュニケーション研究のための基礎となる研究テーマや研究方法などについて理解する。
- ・社会コミュニケーション研究を始めるにあたって、今後4年間の学びの展望を得る。

【概要】 大学に入学して間もない学生を対象として、社会コミュニケーション研究を開始するにあたっての今後4年間の学びの展望を得る。社会コミュニケーション研究の端緒となる研究テーマや研究方法などについて、基本的視点を概観する。とりわけ、現代社会および現代社会が抱える諸問題の学問的理解、メディアや情報、コミュニケーションおよびICTの学問的理解、ダイバーシティやインクルージョンの学問的理解にかかわるさまざまなトピックに触れていく。＜オムニバス方式＞

■基盤講義

551101 社会学のあゆみⅠ

【到達目標】

- ・社会学を学習するにあたっての基本的な知識を身につける。
- ・社会学の成立プロセスを理解し、社会学的発想の特徴をつかむ。
- ・成立期から20世紀初頭にかけての社会学の主要テーマ、主要概念を把握する。

【概要】 社会学という学問の成立と発展を当時の具体的な社会状況とのかかわりで論じることによって、社会学という学問の基本的な考え方を把握する。19世紀から20世紀初頭までの社会学の歴史を、産業、労働、人口、宗教、都市といった諸観点から複合的に理解する。特定の時代において社会学が必要とされた理由、社会学の学問的洗練に向けた努力、社会学独自の対象と方法の模索、聖なるものと社会統合、都市において生じる問題の把握とその解決への志向などといった代表的トピックを概観する。

551102 社会学のあゆみⅡ

【到達目標】

- ・社会学を学習するにあたっての基本的な知識を身につける。
- ・20世紀以降の社会の変動にともなう社会学の変容プロセスを理解する。
- ・20世紀以降の社会学の諸潮流および主要テーマ、主要概念を把握する。

【概要】 社会学という学問がどういった切実な問題に答えようとしてきたのかを見ていくことを通じ、社会学の基本的な考え方を把握する。20 世紀における社会学の歴史を、大衆と民主主義、管理社会と異議申し立て、大きな政府／小さな政府、高度消費社会、第二波フェミニズム、ポスト冷戦時代といった諸観点から複合的に理解する。社会学の一般理論構築への諸努力からマルチ・パラダイム状況を経て現在に至る社会学の代表的トピックを概観する。

551103 メディアコミュニケーション概論

【到達目標】

- ・メディア・コミュニケーション研究の系譜について、基礎知識を身につける。
- ・メディア・コミュニケーションの効果・影響に関する理論について、基礎知識を身につける。
- ・メディアの使命・役割を検討するための基礎知識を身につける。

【概要】 メディア・コミュニケーションという研究領域は学際的な研究分野であり、他の学問分野よりも歴史が浅い。この授業では、メディア・コミュニケーション研究がどのように発展してきたかを体系的に学ぶ。また、メディア・コミュニケーションの効果・影響に関する古典的研究から新しい研究までを学ぶことで、メディアとオーディエンス・社会との関係について考える。そうした知識を踏まえ、メディアの使命・役割について多角的な視点から検討するための基礎知識を身につける。

551104 情報デザイン概論

【到達目標】

- ・情報デザインを理解する
- ・情報デザインとコミュニケーションの関係を理解する
- ・情報デザインにおけるデザインの力を理解する
- ・人間中心設計のプロセスを体験し理解する。
- ・問題発見と問題解決のダブルダイヤモンドを理解する
- ・デザイン思考の考え方を理解する
- ・情報デザインで必要となる心理学などの学問の基礎的な知識を身につける

【概要】 前提知識を必要とせず、情報デザインの基本を学ぶ科目である。情報デザインは ICT が不可欠な現代社会をより良くデザインすることであり、イノベーションを生む発想法としてデザイン思考が注目されている。そのような背景を念頭に置いて、情報デザインとデザイン思考の基本をグループワークやワークショップなどの実践的内容を交えて学んでいく。この授業を、人間を幸せにする ICT の使い方を考える出発点とすることを目的とする。

551105 共生社会概論

【到達目標】

- ・ 共生社会および人間行動に関する基本的な知識を習得する。
- ・ 現代社会の多様性(ダイバーシティ)および共生(インクルージョン)について、自分なりの意見を持つ力を培う。
- ・ 共生社会における自らの生き方・関わり方について、自分なりの方針を定める力を養う。

【概要】 グローバル化および情報化が進む現代社会において、私たちは多様な人々に出会い、彼ら/彼女らと関わりを持ちながら生きていく。本授業では、個人が多様な他者との出会いを通してどのように成長し、変化していくかを学ぶとともに、彼ら/彼女らとのかかわりの中でよりよく生きるために必要な知識・技能を養う。具体的には、社会における多様性(ダイバーシティ)および共生(インクルージョン)の2本を柱として、心・社会・文化を横断した諸概念を理論的・実践的に学ぶ。

551106 社会調査法入門 A

【到達目標】

- ・ 社会調査の意義と概要を理解する。
- ・ 社会調査リテラシーの基礎を身につける。
- ・ リテラシーに基づいた基礎的調査能力を養う。

【概要】 具体的な研究事例に即して、問題関心と社会調査法の関係および社会調査の実施方法、社会調査から得られるデータの読み解き方など、社会調査の意義と概要について基本的な理解を得る。社会調査の歴史、計量的社会調査と非計量的社会調査、フィールドワークの可能性と限界、調査者と被調査者の関係、個人の歴史と社会の歴史との関係、価値関心に導かれた社会調査、政策形成に貢献する社会調査、調査を実際に行うにあたっての倫理上の問題などのキーテーマを扱う。

551107 社会調査法入門 B

【到達目標】

- ・ 計量的社会調査の意義と概要を理解する。
- ・ 計量的社会調査の基礎を身につける。
- ・ 調査結果の基本的分析力を養う。

【概要】 社会調査の方法のうち、調査票を用い、サンプリングを施した計量的社会調査の方法と実施上の諸問題について解説する。調査の構想、設計、実施、分析までの一連のプロセスを学んでいくことを通して、受講者が卒論などで自ら計量的社会調査を行うための基礎とする。調査の構想と調査票の作成、サンプリングと調査実施の手順、調査実施の諸方法と諸問題、コーディングとデータクリーニング、集計結果の解析の基礎などのキーテーマを扱うほか、代表的研究事例について解説する。

■発展講義

【学科共通】

551201 社会データサイエンス入門

【到達目標】

- ・記述統計を中心とした統計学の基礎的な概念を理解した上で、データを客観的に整理し、分析できる力を身につける。
- ・統計的な記述の含まれる論文を正確に読むことができる力を身につける。
- ・統計ソフト SPSS の基本的な使い方を習得する。

【概要】 現代社会においてはデータを適切に読み取り、データから社会の特徴を適切に把握する能力が必須となっている。さらに、社会コミュニケーション学科では自学科科目の学習や卒業研究においては、統計的記述の含まれる論文を読む力、自分で統計資料を整理しデータを分析する力が求められている。こういった諸々の要請を踏まえ、本授業では統計学の基礎を習得するとともに、統計分析ソフト「SPSS」を使って自分で社会データを扱う力を養う。

551202 質的研究法

【到達目標】

- ・質的社会調査の意義と概要を理解する。
- ・質的社会調査実施の基礎を身につける。
- ・調査結果の基本的分析力を養う。

【概要】 本授業では、社会調査の方法のなかでも特に、インタビューや参与観察、フィールドワークなど質的調査法の基本を解説し、受講者が卒論などで質的方法による社会調査を自ら行うための基礎とする。問題関心や研究対象に応じてどういった調査法を選択するか、質的調査を行うにあたってどういった準備を行うか、質的調査をどう実施するか、調査結果をどう分析するかといったテーマを扱うほか、調査倫理や代表的研究事例についても解説する。

551203 社会コミュニケーション先端トピック A

【到達目標】

- ・社会コミュニケーション研究の先端的な知見を理解する。
- ・社会コミュニケーション研究の先端的な手法を理解する。
- ・社会コミュニケーション研究の新しい視点・観点を習得する。

【概要】 本講義では、メディア環境がめまぐるしく変化し、多種多様な観点が交錯する現代社会において、以前からよく取り上げられてきたオーソドックスなテーマには収まりき

らない、社会コミュニケーションに関する先端のかつ冒険的な研究テーマを扱っていく。このことにより、さまざまな学問領域における最新の知見を横断的に取り上げることで、従来の社会コミュニケーション研究の枠組みに収まりきらない新しく大胆な視点を提供することを目指す。

551204 社会コミュニケーション先端トピック B

【到達目標】

- ・社会コミュニケーション研究の先端的な知見を理解する。
- ・社会コミュニケーション研究の先端的な手法を理解する。
- ・社会コミュニケーション研究の新しい視点・観点を習得する。

【概要】 本講義では、メディア環境がめまぐるしく変化し、多種多様な観点が交錯する現代社会において、以前からよく取り上げられてきたオーソドックスなテーマには収まりきらない、社会コミュニケーションに関する先端のかつ冒険的な研究テーマを扱っていく。このことにより、さまざまな学問領域における最新の知見を横断的に取り上げることで、従来の社会コミュニケーション研究の枠組みに収まりきらない新しく大胆な視点を提供することを目指す。

【社会学】

551205 現代社会論

【到達目標】

- ・社会学的現代社会論の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・現代社会への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・現代社会の諸問題を社会学的に究明する力を養う。

【概要】 本講義では、現代社会を捉えるための社会学的アプローチを扱う。現代社会論なので「いま」の社会について考えようとするのではあるが、そうするために、社会学における「近代」についての理論・学説の紹介から出発し、大衆社会、消費社会、管理社会といった 20 世紀的な「現代社会論」を概観した後に、「いま」の社会を特徴づけるいくつかのトピックを取り上げる。こうすることで、現代社会におけるさまざまな具体的問題に切り込んでいく力をつけることを目指す。

551206 日本社会論

【到達目標】

- ・社会学的日本社会論の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・日本社会への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・日本社会の諸問題を社会学的に究明する力を養う。

【概要】 本講義は、「日本社会とは何か」についての授業ではなく、「日本社会はどういうものとして解釈されているか」についての授業である。本講義では特に、現代社会論として「日本社会」を論じていく。言い換えれば、日本の近代や脱近代を考えていくということである。日本の近代については多種多様な研究があるが、本講義では特に「ものの考え方・感じ方」に焦点を当てていく。こうすることで、「いま」の「日本社会」におけるさまざまな具体的問題に切り込んでいく力をつけることを目指す。

551207 家族社会学

【到達目標】

- ・家族社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・家族への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・家族をめぐる諸問題を社会学的に究明する力を養う。

【概要】 家族をめぐる主要テーマを取り上げ、家族社会学の対象と方法を概説するとともに、代表的な知見を紹介する。家族の多様性を視野に入れながら家族の歴史および現在を考える。家族の文化的多様性、法などの社会制度や社会政策との関連、地域社会・職場社会・学校教育など他の社会領域との関連、個々の家族成員のライフコースやネットワークとの観点からみた家族、疑似家族としての共同性など、社会の中の家族を多様な文脈において理解する視点を提供する。

551208 ケアの社会学

【到達目標】

- ・ケアの社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・ケアへの社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・ケアをめぐる諸問題を社会学的に究明する力を養う。

【概要】 本講義では、家族の形成、夫婦間関係、世代間関係、家族の機能、家族に関する諸制度、家族をめぐる社会問題、新たな家族形態などの家族社会学の各論的テーマを「ケア」という視点から総括し、家族や親密性にかかわる新たな視点の獲得を目指す。各論的な視点から家族の歴史や現状を理解することを通して、家族と呼ばれてきたもの、あるいは「親密な関係」の、よりよいあり方を考えるとともに、現代の家族や関連領域をめぐる生じる諸問題と求められる対応についても考察していく。

551209 地域社会学

【到達目標】

- ・地域社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・地域への社会学的アプローチの意義を理解する。
- ・地域をめぐる諸問題を社会学的に究明する力を養う。

【概要】 本講義ではまず、地域社会学がどのような学問であるのかを解説する。中盤からは、具体的なテーマを取り上げ、地域社会における現代的な課題についての実践活動を社会学の立場から考察する。それらの問題が現代の国家政策・地域政策の中でどのように扱われ、地域・コミュニティがどのような状況におかれているのか、さらに問題への取り組みがどのようななされているのかを理解してもらう。具体的な地域問題から現代社会を読み解く力を養うのが本講義の目的である。

551210 都市社会学

【到達目標】

- ・都市社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・都市への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・都市をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 本授業では「都市に暮らすとはどういうことか」という問題を追求していく。授業の前半では、都市社会学という学問領域の標準的かつ基礎的な議論の学びに集中する。中盤から先は、主として都市生活や都市文化を焦点とした、個別の社会学系の研究をいくつか取り上げ、詳細に検討することを通じ、考察を深めていく。本講義では特に、若者、ライフスタイル、文化にかかわる具体的な諸問題を、都市という視点から掘り下げ、検討していく。

551211 デモクラシーの社会学

【到達目標】

- ・デモクラシーを社会的に分析する視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・デモクラシーを社会的に分析するアプローチの意義を理解する。
- ・デモクラシーをめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 デモクラシーという対象に関して、選挙における投票行動や具体的な政治家の諸行為に限定されない多面的な要素を踏まえた社会的な考察を行う。デモクラシーの現状を考えるべく、政治学という専門分野とは異なる社会学独自の視点について概説したうえで、官僚制と行政、社会運動と政治、国家と日常生活、監獄の誕生、性と権力、新しい政治参加などのキーテーマを検討し、現代社会におけるデモクラシーの基盤について社会的に検討する。

551212 シティズンシップの社会学

【到達目標】

- ・シティズンシップを社会的に分析する視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・シティズンシップを社会的に分析するアプローチの意義を理解する。
- ・シティズンシップをめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 現代社会の社会問題から事例をいくつか採り上げ、そこで生じている幸福／不幸の現状をシティズンシップの社会学の見地から考察する。とりわけ、現代社会のさまざまな分断に着目しつつ、多様性を包摂しうる社会のあり方について各論的に考察する。そうした事例的な考察を踏まえながら、現代社会はどのような問題を抱えているか、それをとらえる視点はどのようなものであるべきか、といったことについて具体的に考察をくわえていく。

551213 労働社会学

【到達目標】

- ・労働社会学の視点および主要トピック、主要概念を把握する。
- ・労働への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・労働をめぐる諸問題を社会学に究明する力を養う。

【概要】 本講義では、現代の労働市場や労働条件の格差、賃金や労働時間の決まり方など、労働・仕事をめぐる主要テーマを取り上げ、労働社会学の対象と方法を概説するとともに、代表的な知見を紹介する。労働・仕事をめぐる文化、法などの社会制度や社会政策との関連、家族や学校教育、地域社会など他の社会領域との関連、働く人々にとっての働くことやキャリアの意味など、労働・仕事・職場世界の歴史と現在を考察する多様な社会的視点の提示を目指す。

551214 グローバル化と労働

【到達目標】

- ・労働社会学の視点および主要トピック、主要概念を把握する。
- ・世界的規模の産業発展と労働について理解を深める。
- ・労働をめぐる諸問題について独自の社会的考察ができる力を養う。

【概要】 近年、産業構造が一国の規模を大きく超えて世界規模で拡大が続いている。より詳しく見ると、脱工業化が進み知識社会を形成する国・地域が見られる一方で、工業化を進行させつつ労働力を送り出す国・地域もあり、これらを二つの極として、国境を越えた産業構造が形成され、社会的分業が編成されている。本講義では以上のような事実を、特定の地域に焦点を合わせながら具体的な事例に即して明らかにし、社会学の観点から考察を加えていく。

551215 ジェンダーとセクシュアリティの社会学

【到達目標】

- ・ジェンダーとセクシュアリティの社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・ジェンダーとセクシュアリティへの社会的アプローチの意義を理解する。
- ・ジェンダーとセクシュアリティをめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 ジェンダーとセクシュアリティをめぐるいくつかのテーマを取り上げ、ジェンダーとセクシュアリティの社会学の対象と方法を概説するとともに、代表的な知見を紹介する。取り上げるトピックとしては、フェミニズムの歴史と諸理論の紹介から始まって、性自認をめぐる問題、同性婚の問題、男性学・メンズリブ、男同士・女同士の絆、Xジェンダー、アセクシュアル・アロマンティック、LGBTをめぐる問題、クィア・スタディーズなどが挙げられる。

551216 文化社会学

【到達目標】

- ・文化社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・文化への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・文化をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 本講義では、私たちの文化にはさまざまな側面があり、私たちが気づかない側面も存在することを検討し、それを通して社会の多様な側面を検討していく。人と人をつなぎ、一定の社会秩序をもたらす規範としての文化という社会的な文化の定義を基本にしながら、文化と社会の関係、文化の階層構造、特定の文化のもとでの生きられた経験、マイノリティ文化などのキーテーマの検討を通じて、現代社会の文化について批判的に考察する目を養う。

551217 ライフコースの社会学

【到達目標】

- ・ライフコースの社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・ライフコースへの社会的アプローチの意義を理解する。
- ・ライフコースをめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 個々人や世代のライフコースを社会的視点から考える。ライフコースをめぐる社会学の成立と展開について概観したあと、ライフステージや性別などに応じたライフコース上の具体的な諸問題とその変容、社会的背景やマクロ的影響について概説する。少子化と高齢化、晩婚化と非婚化、エイジング、ライフコースと職業・経済生活、ライフコースと家族、多様なライフコース、多様なライフコースを支える社会的仕組み、世代間関係などのキーテーマを扱う。

551218 福祉社会学

【到達目標】

- ・福祉社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・福祉への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・福祉をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 本講義では、福祉政策の歴史的展開や理論的・思想的根拠を学ぶとともに、現在の福祉政策に向けられる批判や直面する課題について検討していく。より詳しくは、福祉政策ないし福祉国家の成立および展開について具体的事例に触れながら概観したあと、絶対的貧困と相対的貧困、救貧思想、社会的包摂／社会的排除、家族・労働、児童福祉、母子・父子福祉、高齢者福祉、障害者（児）福祉、社会福祉のヒューマン・パワー、社会福祉と人権などの各論的キーテーマを扱う。

551219 臨床社会学

【到達目標】

- ・臨床社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・社会的事象への臨床社会的アプローチの意義を理解する。
- ・社会の諸問題を臨床社会的に究明する力を養う。

【概要】 社会の中の営みである社会学は、単に社会について理論的・思索的に考察するだけにとどまらず、社会の生成や再生の現場に立ち会い、これらに積極的に関わっていくことも課題の一部としてきた。本講義では、こうした考え方に基づく臨床社会学の視点を概説したうえで、生と死をめぐる人間の脆弱さ、病や障害、さまざまな生きづらさや困難を抱える人々の経験、および医療や福祉、共助などによる支援と支え合いの現場をめぐる諸問題を扱っていく。

551220 国際社会学

【到達目標】

- ・国際社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・国民国家を超える事象への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・国を国家を超える事象を社会的に究明する力を養う。

【概要】 近年、先進国と開発途上国の格差、先進諸国内での格差、地球的規模での環境問題、文化摩擦や民族紛争の問題、冷戦構造の崩壊と資本主義の世界化といった諸事象が生じている。こうした状況をとらえる視点として、国民国家を超えた社会のありようを考察する国際社会学について総論的に説明する。国民社会、国民国家、ナショナリズム、世界システム、サブ・ナショナルな単位と関わるエスニシティ、地域主義などの論点をめぐり、自明性としての国民国家の相対化、新しい分析ユニットの登場について論じる。

551221 社会問題の社会学

【到達目標】

- ・社会問題の社会学の視点および主要テーマ、主要概念を把握する。
- ・社会問題への社会的アプローチの意義を理解する。
- ・社会問題をめぐる諸問題を社会的に究明する力を養う。

【概要】 現代の社会問題には多種多様なものがあるが、本講義では特に、犯罪ないし逸脱行為にかかわるトピックを扱っていく。より詳しくは、犯罪現象や犯罪行為にかかわる学問である犯罪学の知見を紹介するところから出発して、実際の犯罪現象や犯罪行為に関して、いくつかのテーマを取り上げながら、世界的な動向の検討や国家間比較を通じ、グローバルな犯罪現象や犯罪行為について社会学的に考えていく。具体的な社会問題を通じて現代社会を読み解く力を養うのが本講義の目的である。

551222 情報社会論

【到達目標】

- ・インターネットやAIを中心として、新しい情報技術について正しく理解する力を身につける。
- ・インターネットやAI、メタバースなどの新しい情報技術を社会基盤となった時に起こりうる社会の変革について想像する力を身につける。
- ・新しい情報技術が前提となった社会において、新しい社会をデザインしていく可能性について考えることができる。

【概要】 インターネットにはじまってAIに至るまで、さまざまな新しい情報技術が登場し社会を基盤から大きく変えてきている。一方で、こうした新しい情報技術について正しく理解し、それが人間同士のコミュニケーションや社会に与えている影響について考えることは重要になってきている。本講義では、新しい情報技術を正しく理解する力を身につけると共に、こうした新しい情報技術がどのような社会基盤に影響を与えるかについて想像する力を持つことで、これから大きく変わる新しい情報技術を前提とした社会をデザインしなおす可能性について展望する。

【メディア情報】

551223 メディア史

【到達目標】

- ・メディアの特性とその発展史に関する基礎知識を体系的に修得する。
- ・メディアが伝達する情報量や範囲について、基礎知識を身につける。
- ・メディアが果たしてきた役割について、理解する。

【概要】 われわれの祖先が文明を発明して以来、人間のコミュニケーションの形態はいくつかの点で重要な変化を遂げてきた。本講義では、メディアの発展の歴史を学ぶ中で、これまでのメディアの特性について、伝達される情報量や範囲などの基礎的な知識を習得する。そうした知識と共に、メディアが果たしてきた役割について、特に人間の情報伝達や情報行動のあり方の変遷、人と人とのコミュニケーションのあり方の変遷、メディアと社会との関係を考察する。

551224 メディア社会論

【到達目標】

- ・メディアの来歴に関し、その普及と変化が人々の結びつきや社会のあり方にどのような影響を及ぼしたかについて、基本的・専門的な知識を身につける。
- ・メディアでの伝え方・表象が、人々の結びつきや社会の分断に及ぼす影響について、基本的・専門的な知識を身につける。
- ・メディアの社会的影響を複眼的視点から検討する力を養う。

【概要】 メディアの来歴について、さまざまなメディアが人々の結びつきや社会のあり方にどのような影響を与えてきたかを、その理論やパラダイム、議論を事例を交えて学ぶ。特に、目まぐるしく変化する今日のメディアについては、その伝え方や表象をも批判的に検討し得るよう、基本的・専門的な知識を習得する。さらに、複眼的な視点からメディアの社会的影響を検討していく。メディアの過去、現在、未来を俯瞰的に学び、今後のメディアのあり方、メディアとの付き合い方を検討する。

551225 グローバルメディア

【到達目標】

- ・国際コミュニケーションをめぐる歴史的動向を理解する。
- ・グローバル社会におけるメディア・文化のグローバル化、トランスナショナル化について、専門知識と理論を身につける。
- ・グローバル化と社会のかかわりについて、メディア・コミュニケーションと文化の視点から考察・分析する力を養う。

【概要】 今日、情報は国境を越えてマスメディアや SNS などのさまざまなコミュニケーションツールで伝えられる。本授業では、国際コミュニケーションをめぐる歴史的動向、メディア・文化のグローバル化およびトランスナショナル化、およびこれらに関する主要な議論や理論パラダイム、諸言説を、さまざまな事例を交えて学んでいく。さらに、グローバル化と社会の関係について、メディア・コミュニケーションと文化の視点から考察し、批判的な検討を行う。

551226 政治とメディア

【到達目標】

- ・政治コミュニケーションが扱う領域・事象を理解する。
- ・政治家、有権者、メディアの関係を理解するために必要な概念や理論を身につける。
- ・民主主義の担い手として自律的に考え主体的に行動する力を身につける。

【概要】 政治コミュニケーションが扱う事象は、投票行動、世論形成、社会運動とオンラインジャーナリズム、プロパガンダ、フェイクニュース、国際政治、安全保障など多岐に

わたることを具体的な事例を通して学ぶ。さらに、そうした政治コミュニケーションは、有権者と政治家を介するメディアによって成り立っていることを理解し、三者の関係を理解するために必要な概念や理論を学ぶ。その上で、民主主義の担い手として自律的に考え主体的に行動するとはどのようなことかを検討する。

551227 ジャーナリズムと現代社会

【到達目標】

- ・ニュースの取材・制作過程についての基礎的な知識を習得する。
- ・ジャーナリズムの意義・役割について理解を深める。
- ・ジャーナリズムにおける「ニュースの価値」を理解する。
- ・現代社会で必須の「情報を読み解く力」を身につける。

【概要】 新聞、テレビ、インターネットを通じて流される政治、経済、災害、紛争・戦争などに関する今日のニュースを題材に、現代社会においてメディア・ジャーナリズムが果たしている役割を理解し、ジャーナリストの使命と一般市民の「知る権利」の関係について学ぶ。また、ジャーナリズムの発展過程とその過程におけるジャーナリズムの問題(戦争報道、原発報道、虚偽報道など)についても学ぶことで、ニュースの価値、ニュースを的確に理解し情報を読み解く力、情報を発信する際の倫理意識を学ぶ。

551228 リスクコミュニケーション

【到達目標】

- ・リスクコミュニケーションの理論やアプローチ方法について、基礎的な知識と専門的な知識を身につける。
- ・リスクコミュニケーションにおいてメディアが果たす役割について、基礎的な知識を身につける。
- ・リスクマネジメントに活かせる能力と態度を養成する。

【概要】 本授業では、現代社会においてリスクコミュニケーションという問題意識を持つ必要性、リスクコミュニケーションが対象とする領域を、今日の事例をまじえて学ぶことを通じ、誰もがリスクの当事者になる可能性があることを理解するとともに、リスクコミュニケーションの理論やアプローチ方法を習得する。また、リスクコミュニケーションにおいてさまざまなメディアが果たす役割について理解し、リスクマネジメントに活かせる能力と態度を身につけていく。

551229 広告論

【到達目標】

- ・企業などによるマーケティング活動に占める広告の位置づけと広告計画について、体系的に理解する。

- ・広告の持つ経済的・社会的・文化的意味、広告と社会との関わりについて、基礎的な知識を身につける。
- ・デジタル時代における広告の役割とその問題点を検討するための視点を習得する。
- ・広告が人々の消費行動や認知的側面に及ぼす影響のメカニズムを理解する。

【概要】 本授業では、多様化・複雑化するメディア環境と企業環境に注目し、マーケティング活動に占める広告の位置づけと広告計画について、体系的に学んでいく。また、広告の経済的・社会的・文化的意味について学び、広告と社会との関わりについて理解を深める。さらに、デジタル時代における広告の役割とその問題点を検討し、今後の広告のあり方を考察する。さらに、広告が人々の消費行動や知識などの認知的側面に与える影響のメカニズムについても学ぶ。

551230 メディア文化論

【到達目標】

- ・メディアと我々の生活様式や行動様式、我々のアイデンティティ、集合的記憶などの文化的側面との関係について理解する。
- ・メディアが文化に及ぼす影響を検討するための基礎知識、理論を身につける。
- ・メディアの社会的・文化的影響を批判的に検討するための視点を習得する。

【概要】 テレビやケータイなどのメディアは、今日我々の生活の一部となっており、我々の生活様式や行動様式はそうしたメディアの影響により変容し、アイデンティティはメディアへの接触を通して強化され、集合的記憶もメディアへの接触により構築されることから、メディアは文化的側面への影響を持つと考えられる。この授業では、実証研究や事例などの学習と理論的検討を通して、そうしたメディアの社会的・文化的影響を理解する。同時に、メディアの社会的・文化的影響を多面的かつ批判的に検討する視点を習得する。

551231 ジェンダーとメディア

【到達目標】

- ・メディアに表象されるジェンダーを分析・検討する理論について理解する。
- ・ジェンダーの視点からメディアに描かれる男女像や男女関係について批判的に検討する視点を養う。
- ・メディアにおけるジェンダー表象の分析・検討を通して自分自身や社会の中にあるジェンダー意識を再考する。

【概要】 ジェンダーの問題は、ドラマや映画などの映像メディア、ニュース番組や新聞記事などの報道、小説や漫画などの娯楽メディアなどに顕著に表れていることが多い。この授業では、そうしたメディアに表象されるジェンダーを分析・検討する理論について学ぶ。さらにメディアに描かれるジェンダーを批判的に検討する視点を養う。そうしたことを通じて、自分自身や社会の中にあるジェンダー意識を再考し、メディアにおけるジェンダー

がオーディエンスに与える影響について検討する姿勢を身につける。

551232 メディアとことば

【到達目標】

- ・メディアにおける言語情報・言語使用の特徴について理解する。
- ・言語とメディアの関わりについて様々な視点から検討する力を養う。
- ・発信力、表現力を高める文章作成法を習得する。

【概要】 メディアにおける言語情報・言語使用の持つ意味と特徴を考え、様々なメディアを駆使し、ことばで伝える能力を高める。活字メディア、放送メディアなどのマスメディアのニュースや広告など、送り手によって発信される言語情報の内容や形態を分析し、その社会的影響について理解を深める。また、ソーシャルメディアにおいては、ユーザーが自由に発信・共有することで、言語情報が拡散されている。多様化するメディア社会における情報発信の担い手として、様々なメディアのことばに触れて分析し、発信力、表現力を高める文章作成についても学んでいく。

551233 ソーシャルメディアとコミュニティデザイン

【到達目標】

- ・ソーシャルメディアを活用したコミュニティデザインの可能性について考えられる。
- ・ソーシャルメディアを活用したコミュニティデザインの事例を知り、自分でもソーシャルメディアを活用したコミュニティのデザインを考えることができる。
- ・ソーシャルメディアを活用したコミュニティの評価方法を考えることができる。

【概要】 ソーシャルメディアを活用したコミュニティのデザインについて扱う。まず、ソーシャルメディアでのコミュニケーション行動、コミュニティについての基礎を学ぶ。そして、学校や企業、地域でのソーシャルメディアの活用例をもとにして、より深くソーシャルメディアの特徴やコミュニティデザインについて学ぶ。さらに、授業の中でソーシャルメディアを活用するコミュニティデザインの実践を体験し、その評価方法を検討し評価するまでを行い、コミュニティにソーシャルメディアを活用する方法やその可能性と限界を考える。

551234 ソーシャルメディアと現代社会

【到達目標】

- ・様々なソーシャルメディアの特徴を体系的にまとめることができる。
- ・ソーシャルメディアでの人のコミュニケーション行動と心理面について理解できる。
- ・ソーシャルメディアのポジティブ面とネガティブ面を理解できる。
- ・現代社会におけるソーシャルメディアの課題について理解し、その解決方法を考えることができる。

【概要】 インターネットを用いたコミュニケーションであるソーシャルメディアを取り上げる。まず、現在の主流のソーシャルメディアを中心にその特徴を体系的に学ぶ。またソーシャルメディアでのコミュニケーションの行動面と心理面を様々な角度から理解する。そして、ソーシャルメディアの持つポジティブな面とネガティブな面について学ぶことで、現代社会におけるソーシャルメディアにかかわる様々な課題について理解し、その解決方法について考察する。

551235 現代社会のサイバーセキュリティ

【到達目標】

- ・インターネットを基盤とする社会における、利点と問題点について理解する。
- ・インターネットを利用することが当たり前になった現代社会において、安心安全にインターネットを利用するための知識を身につける。
- ・インターネットが前提となった社会において、利便性とセキュリティを考慮して自分の活動・生活をどうデザインすべきかを自律的に考え行動できる。

【概要】 今やさまざまな局面でインターネットが利用されている。必要な情報を容易に取得できる利点もあるが、ウィルス被害や個人情報流出といった問題点も存在する。本講義では、社会においてインターネットがどのように利用されているかを見ながら、インターネットに求められていること、インターネットの可能性について考えるとともに、インターネットが抱える問題点についても学ぶ。特に、社会基盤としてのインターネットに求められている、セキュリティに関する問題や新しいコミュニケーションのデザイン、インターネットを基盤とした安心安全な新しい社

551236 コミュニケーションとキャリア

【到達目標】

- ・情報化によるビジネス環境の変化や女性の働き方に及ぼす影響を理解する。
- ・企業における ICT の活用方法を理解し、職業倫理を養う。
- ・ダイバーシティやワークライフバランスの重要性を認識する。

【概要】 現在、私たちにとって ICT の活用は必要不可欠なものになりつつある。このことによって働き方も変化している。本授業では、社会の情報化の進展や情報システムについて理解し、その上で、情報化によってビジネス環境がどのように変化しているのか、企業において ICT がどのように活用されているのかを学ぶ。また、ICT によって労働観がどのように変化したのか、また将来どのように変化していくのかについても議論する。ユニバーサルデザインの視点などに立って、女性の視点での働き方を考える。

551237 デザイン思考 I

【到達目標】

- ・デザインとは何かを理解する。
- ・人間中心設計の取り組み方を理解する。
- ・情報デザインやデザイン思考のプロセスと各プロセスの手法を演習を交えて理解する。

【概要】 情報デザインとデザイン思考、両者に共通する思想である人間中心設計の基本を学ぶ科目である。デザインとは何か、情報デザインとは何か、情報デザインのプロセス、ユーザ調査のための手法（ユーザ調査・インタビュー・フィールドワークなど）、コンセプト化のための手法（コンセプトデザイン・ペルソナ手法・シナリオ手法・発想法など）、視覚化のための手法（構造の視覚化・情報の構造化・アイデアスケッチなど）を、グループワークや実際にパソコンを使い体験しながら学ぶ。

551238 デザイン思考Ⅱ

【到達目標】

- ・情報デザインの各プロセスの手法、特にプロトタイプと評価の手法を、演習を交えて理解する。
- ・感性を科学する手法を理解する。
- ・情報デザインを実践する取り組みができる。

【概要】 人間中心設計の考えに立って情報デザインを自分の活動で実践できるようになるために、「デザイン思考Ⅰ」と合わせて、情報デザイン、デザイン思考、人間中心設計の手法を学ぶ科目である。この科目では特に、プロトタイプを制作して、ユーザや専門家が評価する手法、感性を科学する方法などを、グループワークや実際にパソコンを使い体験しながら学ぶ。主観的要素である人の感覚（感性）を評価することで、それ以外の手法とは異なるアプローチで人間を理解することができる。

551239 デザイン心理 A

【到達目標】

- ・さまざまな AV 機器やコンテンツのデザインが、人間の視覚のしくみや視覚メッセージのあり方と密接に関わっていることを理解する。
- ・人間の視覚のしくみ、視覚的メッセージ―視線や色、表情、テキスト情報を理解するしくみについて、人間の加齢変化や障害を含めて体系的に理解する。
- ・高齢だったり視覚障害があったりする場合の問題と、その解決方法の原理を理解する。

【概要】 情報技術が進歩し、映像や音声データがデジタル化され、さまざまな通信メディアを通じて人間のコミュニケーションを豊かにしている。AV 機器やコンテンツのデザインは、人間の視覚・聴覚の特性に適合するように発展してきた。この講義では、人間の非常に優れた感覚の特性と、その特性が AV 機器やコンテンツにどう反映されているのかを学ぶとともに、高齢・障害のある人の特性とユニバーサルデザインについても触れる。この科目については視覚を中心に扱う。

551240 デザイン心理 B

【到達目標】

- ・さまざまな AV 機器やコンテンツのデザインが、人間の聴覚のしくみや発話のしくみと密接に関わっていることを理解する。
- ・人間の聴覚のしくみ、発話のしくみ、ことばを聞き取るしくみについて、人間の加齢変化や障害を含めて体系的に理解する。

【概要】 情報技術が進歩し、映像や音声データがデジタル化され、さまざまな通信メディアを通じて人間のコミュニケーションを豊かにしている。AV 機器やコンテンツのデザインは、人間の視覚・聴覚の特性に適合するように発展してきた。この講義では、人間の非常に優れた感覚の特性と、その特性が AV 機器やコンテンツにどう反映されているのかを学ぶとともに、高齢・障害のある人の特性とユニバーサルデザインについても触れる。この科目については聴覚を中心に扱う。

551241 ユーザ体験とユーザインターフェース

【到達目標】

- ・ユーザインタフェース技術を、開発側とユーザ側の両方の視点で理解する。
- ・モバイルを始めとしたユーザインタフェースデザインを理解する。
- ・ユーザ体験を考慮したユーザインタフェースのプロトタイプを制作し、評価することができる。

【概要】 ユーザインタフェースは、Web やアプリを使用する際に欠かせない、ユーザとコンピュータ側との接点である。ユーザは、ユーザインタフェースに対して入力を行い、ユーザインタフェースからの出力を受け取る。そのため、ユーザが獲得するユーザ体験への影響は大きい。そこで、ユーザインタフェースを構築するために必要な情報アーキテクチャ、開発のフレームワーク、モバイルデザインなどに触れ、ユーザ体験を考慮した実践的なプロトタイプを作成・評価する手法を身に付けることを目標とする。

551242 ユーザニーズ分析

【到達目標】

- ・ユーザニーズの分析の重要性を理解する。
- ・講義内で扱った各種手法の適用場面と適用方法を習得する。
- ・ユーザのニーズを的確に理解し、適切に文書として記述することができる。

【概要】 アプリ作成において、そのアプリをどのようなものとして作成するかを決定すること、つまり作成したいものに対するニーズを分析することは、ものづくりの最初のステップである。このときに行うことは、作成するものに対する関係者(ステークホルダ)をリストアップし、ステークホルダからのニーズを引き出す。そのニーズについて実現可能な

形にまとめ、最終的に文書として記述することである。本講義では、まず、適切にユーザーニーズの分析がなされることの重要性について学ぶ。そして、ステークホルダの中でも特にユーザからのニーズを中心に、各段階で利用できる手法を学習する。

551243 ICT リテラシーA

【到達目標】

- ・ 情報システムにおけるネットワークの役割と基本的な仕組みを理解する。
- ・ 基本的なセキュリティの知識を習得する。
- ・ 情報システムにおけるデータベースの役割と基本的な仕組みを理解する。

【概要】 コンピュータの発達と普及が目覚ましい現代社会において、情報システムは日常生活に欠かせなくなっている。そういった身近な情報システムをよりよく利用していくために、その基本を学ぶことが重要である。この科目は、情報システムを運用していく際に基盤となっているネットワークとセキュリティ、リレーショナルデータベースなどを取り上げる。情報システムを扱う職業人として必要なレベルの基礎知識を、実際にコンピュータを操作して、実践的に学んでいく。初心者にもわかりやすいように学習する。

551244 ICT リテラシーB

【到達目標】

- ・ 情報デザインの基本的な原則を理解する。
- ・ 様々なユーザインタフェースの特徴や設計の考え方を理解する。
- ・ マルチメディア技術の基本的な仕組みを理解する。

【概要】 コンピュータの発達と普及が目覚ましい現代社会において、情報デザインやインタフェースは、わかりやすい、そして使いやすい情報システムの構築に必要不可欠である。また、マルチメディア技術により、情報社会における様々な情報を多角的に表現することができる。この科目では、情報をわかりやすく伝えるための原則や、情報システムを操作するためのユーザインタフェースの基礎、および様々な情報の表現方法・技術について学習する。

551245 マルチメディアと表現Ⅰ

【到達目標】

- ・ コンピュータで取り扱う静止画を題材に作成や加工を行う過程を通して、デジタル形式の画像に関する知識を習得する。
- ・ 画像を Web コンテンツとして公開する技術を身につける
- ・ 公開に関して注意すべき点を理解する。

【概要】 情報を表現するための手段として静止画を取り上げ、静止画像のフォーマットやコンピュータでの色の表現の概念、スキャナ・デジタルスチルカメラの利用方法、写真の

デジタル編集(Photo Retouch)、描画ソフトを利用した画像の作成と加工、GIF アニメーションなど、静止画表現に必要な知識や技術を実習を通して学ぶ。静止画作品を発表する媒体としては Web を利用するため、HTML や Web 公開の基礎から、ユニバーサルな Web デザイン、Web コンテンツ公開時の著作権や肖像権についても触れる。

551246 マルチメディアと表現 II

【到達目標】

- ・動画編集のための計画策定を行う力を養う
- ・デジタル動画編集の基礎的な知識を理解し、技術を習得する。
- ・多様なメディアでの動画の表現について理解する。

【概要】 情報を表現するための手段として動画を取り上げ、時間とともに変化するビデオ・コンテンツの表現手法について、着想・絵コンテの作成、撮影時のノウハウ、ノンリニア編集、圧縮・保存・公開する一連の DTV の過程を学ぶ。これらの過程は、デジタルビデオカメラを利用してビデオ素材を撮影し、作品を作成するという実習を通して実践的に学んでいく。作品は、YouTube など Web による公開の他に CD や DVD、DV テープなどの多様なメディアでの表現についても学び、ビデオ・コンテンツ作成に関する知識と技術を習得する。

551247 Web での情報表現

【到達目標】

- ・誰もが使いやすく楽しい、Web 標準に準拠したサイトを制作することができる。
- ・サイトの設計・制作・評価の基本を理解する。
- ・変化の激しい ICT 社会に対応した Web での情報表現を考えることができる。

【概要】 受講者に前提知識を必要とせず、誰もが使いやすい Web サイトを実際に製作して発表する科目である。変化の激しい ICT 社会の中心となっている Web の重要性を理解し、高齢者や初心者や障害者などの誰もが使いやすい Web サイトを、Web 標準に準拠して制作するスキルを、設計、制作および評価のプロセスに分けて、事例や Web サイト制作実習で学ぶ。数ページで構成されるサイトの制作を最終課題とする。モバイル社会の対応も紹介する。

551248 Media Literacy

【到達目標】

自律的な学習者になることを目標として、以下を習得する。

1. 出版メディア、テレビ、ソーシャル・メディアなど、様々なメディア形式に特有のメディア関連の語彙と概念を学ぶ。
2. 信頼できる情報源と信頼できない情報源を区別する方法を学習する。メディアにおける

表象の重要性（性別、人種、年齢などの観点）を理解し、学生本人の人生にメディアが及ぼす影響を深く考察し、人々や出来事を説明するために使用される言語を分析し、様々な人々の集団や出来事の解釈に関するメディア・メッセージを分析することを通じて、批判的思考スキルを発展させる。

3. インタビューやイベントへの参加から収集した情報に基づいてニュース記事を作成する。また、意見記事を作成し、映画、演劇、コンサートに関する批評を書く。

【概要】 1年次で習得したアカデミック・スキルに立脚し、リサーチ・スキルをさらに発展させ、自らのリサーチについて批判的に思考する意識を養成する。学習者は、他の学生との共同作業によって、世界の知に貢献するための解決方法を見出すうえで必要なツールを身に着ける。

この科目は、メディアに関連する語彙や概念についての学生の理解を深め、メディア・リテラシーを育成する。メッセージの作成者、メッセージが対象とする読者、メッセージの目標を特定することで、学生がメディア・メッセージを分解して分析する準備を整える。このプロセスを通して、学生が独立した批判的思考を行うメディア消費者となることを目指す。加えて、学生は新聞記事のようなレポートを作成する。これにより、学生は新しいスキルを実践する機会を得る。

551249 メディアと経済

【到達目標】

【概要】 従来の枠組みが崩れ、あらゆるものが多元的にメディアになりうる時代に、メディアを通して実際にどのように経済が回っているのか、それが生活者ひとり一人の幸せにどうつながっているのか、そしてこれからの生活者にとってメディアはどのような存在になっていくのかを検討する。この科目では、現場での経験事例を通して、その実態を理解する。

【共生社会と人間】

551250 共生社会と人間行動（ダイバーシティ）

【到達目標】

- ・多様な文化の軸（地域、ジェンダー、人種、経済性、社会階級）についての基礎的な知識を身につける。
- ・多様性（ダイバーシティ）に関する心理・行動に関連する学問知識（理論、用語）を習得する。
- ・多文化の対立から、共生社会を導くアイディアを養う。

【概要】 多文化に出会う現代社会の中では、人々の多様性が高まる過程で自分と他者さらには自文化と異文化の違いに意識が向けられ、それが結果として個人間・文化間の摩擦を

生んでいくことになる。この授業では、こうした多文化社会における多様な側面（地域、ジェンダー、人種、経済性、社会階級）における対立の様子およびそれら対立が生まれるプロセスについて心理学的に理解する。そのうえで、ダイバーシティとの出会いによる個人の成長と変化を学びながら、多文化共生を導くアイデアについて、発表、議論していく。

551251 共生社会と人間行動（インクルージョン）

【到達目標】

- ・人々の共生(インクルージョン)に関する基礎的な知識を身につける。
- ・多文化の理解・受容から、共生社会を導くアイデアを養う。
- ・共生時代において、授業で学んだ知識や意見を自らの生き方に応用する力を培う。

【概要】 共生が求められる現代社会において、人は多様な他者・文化に出会う。多様な人々との出会いが、他者および異文化の理解を深めるとともに、自身および自文化を再認識することにつながる。さらに、多文化の比較を通して、人々の心理や行動パターンは変化していく。この授業では、多様な個人および文化の心理行動傾向に触れながら、人々が他者個人や異文化をどのように受容していくかを学ぶ。そして、多様な人々が幸せに生きる共生(インクルージョン)の過程を検討する。

551252 共生社会と心理（マクロ：集団・社会）

【到達目標】

- ・共生社会における人間行動の中で、特に集合現象に関する心理学的基礎を習得する。
- ・社会学・心理学を横断したマクロ（集団・社会）レベルに関する諸説を理解する。

【概要】 現代社会はグローバル化・情報化と相まって複雑に変容しており、そのような社会における集合現象および人々の心理過程を適切に捉えることがより重要になっている。この授業では、人間の集団心理・群衆心理や集合行動(うわさ・流言・流行現象など)、メディアと社会的表象、イノベーションの普及過程研究など、主にマクロな視点から共生社会で求められる心理や人間行動を理解した上で、共生社会実現するための思考力、判断力を養う。

551253 共生社会と心理（ミクロ：個人・対人）

【到達目標】

- ・共生社会における個人の感情、社会的認知、意思決定、帰属過程など、ミクロ(個人)レベルに関する基本的知識を習得する。
- ・共生社会におけるコミュニケーションをはじめとした対人過程および社会への適応に関する諸知識を習得する。

【概要】 共生社会においては、多様な人々を受容し、彼ら/彼女らと良好な対人関係を構築することが求められる。日常生活の中で、私たちは個人の心理課程および対人のコミュ

ニケーション課程を経て様々な感情を抱きながら他者を認知し関係を構築していく。本授業では、ミクロ(個人的・対人的)な視点から感情、社会的認知、意思決定、帰属過程、そして他者と共生するためのコミュニケーションに関する実証的知見を学ぶ。そして、多様な背景を持つ人々との共存方法を探索していく。

551254 共生社会と心理（文化）

【到達目標】

- ・人が発達する過程で獲得する社会的知性について、知覚、認知、思考の基礎から学ぶ。
- ・人が無意識のうちに持つにいたる認知的バイアスが生じる社会・心理的メカニズムを学ぶ。
- ・偏見や差別を乗り越えた共生社会の実現に至るプロセスに対する意見を培う。

【概要】 人は生まれてから死ぬまでの発達の過程で多様な他者と共生するための「社会的知性」を身に付けていく。一方で、特定の文化で身に付けた社会的な知性は他の文化でも当てはまるとは限らず、無意識のうちに認知的なバイアスとして偏見や差別をはじめとした誤った判断や行動をもたらすことになる。この授業では、人が発達の過程で身に付ける認知情報処理のモデルを理解するとともに、知覚や記憶を含む認知バイアスが生じる社会・心理的メカニズムを学際的に学ぶ。また、具体的な認知バイアスの問題解決に至るプロセスをクラス全体で検討する。

551255 エイジングの心理学

【到達目標】

- ・共生社会の中で、Vulnerable な位置にある高齢者について理解を深める。
- ・エイジング研究の最新の知見を得る
- ・高齢者への態度やイメージを再考する
- ・デジタル、グローバル社会での高齢者の適応と、それをサポートする社会文化的要因やツールを理解する。
- ・生きる意味、ウェルビーイングを支える要因の理解し、創生する力を養う。

【概要】 高齢社会の中で、エイジングに対する概念は、変容してきた。年齢によって、衰退していくネガティブな意味から、サクセスフルエイジングやポジティブなバイアス、知恵など、ポジティブな意味が付与されて来るようになった。こうした人間観の変遷は、高齢社会により人間が経験し、またその知見が積み重ねられたきたことにより可能となったものである。本講義では、エイジングに関する歴史的変遷を外観し、具体例を交えながら共生社会における心理学研究を分析し、人間の命題である生きる意味を議論していく。

551256 子どもと社会

【到達目標】

- ・共生社会の中で、Vulnerable な位置にある子どもを知る。
- ・子ども研究の最新の知見を得る
- ・発達心理学のキーワードを日本語と英語で理解する。
- ・子ども観を再考する。
- ・デジタル、グローバル社会での子どもの成長と、そこに影響する社会文化的要因を理解する。

【概要】 人間は環境や社会からの情報を得て、主体的にここを作っていく。この授業では、親子関係を皮切りに、幼稚園や学校、会社などさまざまな人間関係、社会との関係のなかで、どのように心を育てていくのか発達心理学、赤ちゃん学や進化心理学、文化心理学、脳科学の知見から、理解していく。特に、子どもをめぐるエピソードから、なぜ子どもがそのような行動をするのか、どんな風に、見て、聞いて、話していくのかといった問いを立て、学際的知見から子どもの世界を理解し、同時にその成長をサポートする視点を養う。さらにまた自分の子どもだったと

551257 ダイバーシティとコミュニケーション

【到達目標】

- ・ダイバーシティとは何かを理解する。
- ・共生社会の中で、Vulnerable な位置にある障がいを知る。
- ・コミュニケーション障碍についての、基礎的知識を身につける。
- ・コミュニケーションの違いを通して、障碍を持つことを理解し、違いをこえたコミュニケーションの方略を体得する。

【概要】 ダイバーシティとは人間の多様性を表すことばである。国籍、人種や男女といった違いだけでなく、機能的損傷などによるコミュニケーションの相違も含まれる。コミュニケーションの違いを通して、障碍を持つことを理解し、違いをこえたコミュニケーションの方略を体得する。この講義では、社会の中でのダイバーシティを理解し、その上でコミュニケーション障碍をもつ人をインクルージョンしていく方法について、様々な方策を検討、議論していく。

551258 対人コミュニケーション（ジェンダー・セクシュアリティ）

【到達目標】

- ・対人コミュニケーションにおける男女差およびジェンダー規範について基礎知識を得る。
- ・コミュニケーション・パターンの違いが対人コミュニケーションに及ぼし得る影響について理解する。
- ・コミュニケーション・パターンの違いが対人コミュニケーションに及ぼし得る影響について

て理解する。

【概要】 対人コミュニケーションの仕方は、話者の属性によって異なる傾向があり、属性差の主要な例として、セクシャリティやジェンダーによる違いがあげられる。心理行動傾向や言語行動の選択をはじめとしたコミュニケーション行動の男女差が、家族関係や共同体、および公共社会における対人関係の在り方と相互に関わっていることを概観する。また、個人のセクシャリティに応じた行動の違いと社会的に期待されるジェンダー像との関わりについても考察する。

551259 対人コミュニケーション（家族・共同体）

【到達目標】

- ・対人コミュニケーションのはじまりとなる親子関係・家族関係について、基礎的知識を得る。
- ・共同体(コミュニティ)における人間関係について、基礎的知識を得る。
- ・家族や共同体におけるコミュニケーションの困難が及ぼし得る影響について理解する。

【概要】 人間は、人と人との関係を通して自己を形成していく。家族や共同体はその始まりの場でもある。また、家族や共同体にはまた様々な人間関係の特徴がある。この授業では、発達の視点と社会・心理学的視点を中心として、家族や共同体のダイナミクスの多様な様相を習得する。そのうえで、家族や共同体でのコミュニケーションを通じた人間の成長の菅田を、生涯発達の視点から考察する。また、現代における多様な家族や共同体のあり方を議論していく。

551260 対人コミュニケーション（公共社会）

【到達目標】

- ・対人コミュニケーションの場としての社会について、基礎的知識を得る。
- ・社会におけるコミュニケーションの困難が及ぼし得る影響について理解する。
- ・社会とりわけ組織の中でのメンタルヘルスに関する諸概念を学ぶ。

【概要】 人間は、社会的動物である。人が生活する場は、家庭や共同体から組織、公共社会へと拡大し、またより多くの他者を相手と関係を構築することとなる。この授業では、ビジネス場面をはじめとした公共社会におけるコミュニケーションの特徴を学び、葛藤場面でのコミュニケーション、相手を説得するためのコミュニケーションについて理解する。その上で、多様なアクターの Well-being が高まる Win-Win なコミュニケーションのあり方を模索し、議論していく。

■基盤演習

551301 1年次演習（社会コミュニケーション）

【到達目標】

- ・学問的な問いと回答の試みとはどのようなものかについて入門レベルの理解を固める。
- ・大学で学ぶために必要な基礎的アカデミックスキルを身につける。

【概要】 本授業では、社会コミュニケーション学科を構成するさまざまな専門領域の基礎的な概念枠組みについて、入門レベルの学習を進めていく。あわせて、自主的な学習姿勢を前提とした報告や討論による演習形式での授業を通じて、大学において学習を進め研究を行っていくために必要な技法＝スタディスキル（具体的には、文献報告ないし研究発表の行い方、質疑・応答や討論の行い方、文献や資料などの集め方・調べ方、図書館の利用法、レポートの書き方など）を習得する。

551302 2 年次演習（社会コミュニケーション）**【到達目標】**

- ・社会コミュニケーション研究の基本概念、専門用語を理解する。
- ・文献検索を行い、学術文献を読解し、正確に要約する力を身につける。
- ・論旨を発表し、ディスカッションするスキルを身につける。

【概要】 本授業は演習形式の授業であり、社会コミュニケーション学科を構成するさまざまな専門領域に関して、主として英語による学術的な文献を読解し、要約したうえで論旨を発表していく。あわせて、学びを深めるとともに演習メンバーとして役割を果たすために必要となるアカデミックスキル（具体的には、効果的なプレゼンテーションのやり方、学術的な文章の書き方、討論の進め方（聴き方、話し方、とりまとめ方）などを伸ばすことを目指す。

551303 社会データサイエンス A**【到達目標】**

- ・社会調査や行動科学における統計分析の意義を理解する。
- ・確率論、サンプリング、推測統計学の基礎的知識を身につける。
- ・統計ソフトを用いて、記述統計などの基礎的なデータ分析を行う力を身につける。

【概要】 統計的データをまとめたり分析したりするために必要な、推測統計学の基礎的な知識を実習を通して学ぶ。具体的には、記述統計の基礎を理解し、度数分布表、相関散布図、正規分布、クロス表などの記述統計を習得する。また、確率論の基礎、母集団と標本・標本抽出法のサンプリングの概念、検定・推定の理論とその応用（平均と比率の差の検定、相関係数の検定、クロス表の独立性の検定など）、回帰分析の基礎を統計ソフトの扱い方も含め習得する。さらに、これらを社会調査や行動科学の問題意識の中に位置づけて理解していく。

551304 社会データサイエンス B

【到達目標】

- ・社会調査・行動科学における多変量解析の意義を理解する。
- ・統計ソフトを用いて、多変量解析を行う力を身につける。
- ・データの種類と目的に応じて、統計手法を選択する判断力を身につける。
- ・分析結果について正しく読み取り、適切な文章と図・表によって報告する力を身につける。

【概要】 社会調査・行動科学のデータの分析で用いる基礎的な多変量解析法について、その基本的な考え方と主要な計量モデルを実習を通して学んでいく。具体的には、重回帰分析を基本としながら、他の計量モデル（たとえば二元配置分散分析、主成分分析、因子分析、クラスタ分析など）といった分析法を、公開データの利用法や統計ソフトの扱い方も含めて習得する。また、問題意識に適した統計分析の活用法とはどういったものかについても理解を深めていく。

551305 社会コミュニケーション実習（実験法）**【到達目標】**

- ・人間のコミュニケーションを研究するための方法として、実験法の概要と特徴を理解する。
- ・検証可能な仮説の設定、仮説を検証するための検定方法と、実施可能性を視野にいたれた現実的な実験計画の立案ができる。
- ・実験の実施とデータの収集、データ集計・クリーニングから、分散分析や多変量解析を含む統計検定とその解釈をすることができる。

【概要】 人間のコミュニケーションを実証的に研究する上で、仮説を検証するためには最も強力とも言える研究方法である、実験法について実習を通して学ぶ。人間を実験対象（被験者）にする実験のパイオニアである、心理学の領域において蓄積されてきた実験の手法を、研究目的の設定、検証可能な操作的仮説への落としこみ、実験計画の立案、実施、データの整理、統計分析、考察と結論、報告書の作成まで全手順を複数回体験しながら、分析方法について、単純な差の検定から分散分析、多重比較、重回帰分析、因子分析を実験方法と対にして学ぶ。

551306 社会コミュニケーション実習（内容分析）**【到達目標】**

- ・内容分析の基本的な考え方と方法に関する知識を身につける。
- ・内容分析を行うために必要な一連の手続きを習得する。
- ・基本的な量的データの解析方法を習得する。
- ・テキスト分析に関する基礎的な方法を習得する。

【概要】 量的内容分析の方法とそれによって得られたデータの解析方法について、実習を交えて解説する。内容分析とは何か、内容分析にできることとできないこと、内容分析の

一般的手続き（サンプルの選び方、コーディングシートの作り方・作成上の注意事項、データの集計方法、データの分析方法、結果のまとめ方）などを、コーディング・シートによる内容分析とテキスト計量分析の実習を通して学ぶ。また、基本的な量的データの分析方法として、記述集計、クロス集計、 χ^2 検定、相関係数、t 検定などを復習する。

551307 共生社会デザイン（ダイバーシティ）

【到達目標】

- ・共生社会と人間行動の基盤となる文化心理学の基本的知識を習得する。
- ・安易なステレオタイプに陥ることなく、人間と社会を多元的に見る目を養う。
- ・さまざまな文化的背景について、多文化の視点からのデータや批判を受け、思考し、理解する力を養う。
- ・多文化共生社会の中での他者理解の力を養う。
- ・共生社会が対面する課題を理解し、解決するアイデアを英語で発信する能力を養う。

【概要】 グローバルな世界の中で、自分とは異なる文化的背景をもつ他者に出会う。そこで気づくのは、人間の行動原理は必ずしも普遍的ではなく、文化によって多様であることである。日常的文化的経験と自己は相互に生成しあっているのである。本授業では、多文化共生社会の中で他者を理解するために、東洋と西洋を含めた多様な文化軸(ジェンダー、経済性、宗教、人種)をとりあげ、文化心理学的データの見方を学ぶ。その上で、欧米で文化心理学や日本を学ぶチームとのディスカッションを通して、考察を深めていく。

異文化の視点からの日本に対する批判や問題を受け、文化に対する潜在的なバイアスに気づくこと、表面的な文化差の指摘にとどまらず、その差が生み出されるプロセスや、文化に特有の行動パターンがどのような機能を果たしているか、ディスカッションを通して、グローバル社会での人間像および問題解決の道筋を議論していく。その際、英語でのディスカッションを通して講義内容を理解する力を養成する。

551308 共生社会デザイン（インクルージョン）

【到達目標】

- ・相手の立場に寄り添い一人ひとりの主体的な行動を支援する力を養う。
- ・多様な人々が協働するコミュニケーションをデザインする力を養う。
- ・一人ひとりが幸せに生きられる共生社会デザインを発信する力を養う。

【概要】 共生社会において、子どもや高齢者など、Vulnerable な人への配慮や視点を持った社会デザインが必要である。その際、相手に対する単なる補助ではなく、それぞれの立場にある人々の主体的な意思のもとに、自立した活動を支援することが望まれる。そして、多様な人々を観察・理解し、話し合い、互いに協働することが大切である。さらに、人と人、人とモノとのあいだのコミュニケーションをデザインする力も求められる。本授業では、人々が共生する社会・心理・コミュニケーションに関する基礎知識を身につけた

上で、学外機関との連携や現場での学びをすることで、一人ひとりが幸せに生きられる共生社会デザインを発信する力を養う。

551309 ユニバーサルデザイン A

【到達目標】

- ・情報デザインの基本である人間中心設計の重要性を理解する。
- ・ユニバーサルデザインを実践できる。
- ・ユーザビリティ、多様なユーザ、アクセシビリティ、ユーザ体験の基本を理解する。
- ・人間中心設計の考え方に沿って情報デザインを実践できる。

【概要】 情報デザインの基本である「人間中心設計」の考え方を学ぶ。「人間中心設計」とは、人が使用するものを、ユーザの立場に立って設計していく考え方である。できるだけ多くの人が利用できるように、設計段階で検討するユニバーサルデザインを例にとって、自分たちでデザインを考えて評価する体験を交えてこの分野の考え方を学ぶ。ユーザビリティ（使いやすさ）、アクセシビリティ（障害者や高齢者が使えること）、ユーザ体験（嬉しい利用体験）やこれらの評価手法も経験し、この科目との関連を議論する。

551310 ユニバーサルデザイン B

【到達目標】

- ・ユニバーサルデザインの基本的な考え方と態度が身につく。
- ・デザイン心理的アプローチの方法論を理解し、デザインする場面で応用できるようになる。
- ・実際に効果が出るようにするには、環境や生活をどうデザインすべきかを自律的に考え、行動できる。

【概要】 ユニバーサルデザインは、より多くの人が効果的に楽に利用できる環境や仕組みを求めるポリシーである。そのポリシーを実効性のあるデザインであるかどうかは、利用者にとって重要な要素が見えるか、聞こえるか、触ってわかるかによって決まってくる。本講義では、実効性のあるデザインに高めていくデザイン心理的アプローチの方法論を講義する。環境や生活において効果的なデザインについて、事例をあげ、自分たちで考えながら体験的な学習を行う。

551311 Web プログラミング I

【到達目標】

- ・JavaScript を用いたプログラミングの方法を習得する。
- ・アルゴリズムとデータ構造を理解する。
- ・Web 技術（HTML と CSS）の基本を習得する。

【概要】 初心者でも開発しやすいプラットフォームなどを利用して、JavaScript を用い

た簡単なプログラミングを制作できるようになる演習科目である。自分でコードを書く練習をしながら、分岐と反復を含んだ基本的なアルゴリズムのパターンと基本的なデータ構造を理解する。また、テストの仕方やデバッグの方法も学ぶ。JavaScript を用いた Web プログラミングで必要となる Web 技術である HTML と CSS の基本も理解する。

551312 Web プログラミング II

【到達目標】

- ・ JavaScript のプログラム制作ができる。
- ・ オブジェクト指向プログラミングを理解する。
- ・ 計算機科学の考え方を身につける。
- ・ Web 技術（HTML と CSS）の資格試験に合格することができる。

【概要】 「Web プログラミング I」と合わせて、自分が必要とする Web プログラミングを制作できるようになる演習科目である。オブジェクト指向言語としての JavaScript の文法を理解することを目指す。JavaScript を使って、論理的な思考やアルゴリズム考案が身につくような例題を演習する。実践的な課題や練習を多く経験して技術を習得する。自作のプログラムが動く楽しさを経験し、Web 技術の資格試験合格にも挑戦してもらいたい。

551313 日本語データ分析 I

【到達目標】

- ・ コンピュータで日本語表現を扱う基本的な技術を取得する。
- ・ 日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか考える力を養う。
- ・ データマイニングの基礎的な考え方を身につける。

【概要】 本授業では日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能や、データマイニングについて、その基礎となる考え方を学んでいく。実際の日本語のテキストデータを用いながら、コンピュータに向かいつつ、基礎的な技術を取得することをめざす。さらには授業時間外の実習によって、より深い理解をはかる。プログラミング言語(Perl や Python 等) によるプログラミングや、既存のツール（KHCoder 等）による実習をとまなう。

551314 日本語データ分析 II

【到達目標】

- ・ コンピュータで日本語表現を扱う応用的な技術を取得する。
- ・ 日本語の性質を明らかにするために、コンピュータをどのように活用することが可能であるか、自ら探る態度を身につける。
- ・ データマイニングの応用的な技術を身につける。

【概要】 本授業では日本語（一般に言語）表現をコンピュータで扱う技能とともに、その

基礎となる考え方を学んでいく。実際の日本語のテキストデータを用いながら、コンピュータに向かいつつ、その応用的な技術・考え方を取得することをめざす。さらには授業時間外の実習によって、より深い理解をはかる。言語表現・情報をコンピュータによって処理する方法を総合的に把握するとともに、先人が見出してきたものを習得するだけでなく、コンピュータの活用の可能性を自ら探る態度を身につけることを目標とする。

■発展演習

551401 3 年次演習（社会コミュニケーション）Ⅰ

【到達目標】

- ・社会コミュニケーション研究の専門的知識を身につける。
- ・社会コミュニケーション研究に関する文献を講読し、理解する。
- ・社会コミュニケーションの研究法を身につける。

【概要】 「3 年次演習（社会コミュニケーション）」では、学生が自らの関心に基づいて演習担当者を選び、その指導のもとに専門領域の知見を増やしながら、次第に自分の研究テーマを深く掘り下げ、自己の問題意識を明らかにし、研究の方法論を確立していく。演習の形式は「2 年次演習（社会コミュニケーション）」までと変わらないが、内容はより専門的で、読む文献も専門書や学術雑誌の論文などが中心となる。本演習では文献研究によって問題意識を深めつつ、自分の関心に合ったテーマを探していくことが中心となる。

551402 3 年次演習（社会コミュニケーション）Ⅱ

【到達目標】

- ・具体的な研究テーマに関連する専門書や学術論文を講読し、理解する。
- ・具体的に研究を遂行するために必要な方法を身につける。
- ・発表とディスカッションを通じて論理的、分析的思考法を身につける。

【概要】 「3 年次演習（社会コミュニケーション）」では、学生が自らの関心に基づいて演習担当者を選び、その指導のもとに専門領域の知見を増やしながら、次第に自分の研究テーマを深く掘り下げ、自己の問題意識を明らかにし、研究の方法論を確立していく。演習の形式は「2 年次演習（社会コミュニケーション）」までと変わらないが、内容はより専門的で、読む文献も学術雑誌の論文などが中心となる。本演習では「3 年次演習（コミュニケーションⅠ）」よりも具体的に研究を遂行するために必要な方法や概念について議論を深め、4 年次に行う卒業研究の準備を行う。

551403 4 年次演習（社会コミュニケーション）Ⅰ

【到達目標】

- ・卒業研究を遂行するための専門知識を身につける。

- ・卒業研究のデータ収集とデータ分析の具体的方法を習得する。

【概要】 「4 年次演習（社会コミュニケーション）」では、個々の学生が自らの関心に基づいて行う卒業研究と連動させながら、演習が行われる。卒業研究とは、より専門的な知識をもとに、各自のテーマに沿った先行研究のレビューや研究の問題意識の明確化、仮説の設定、実証データの収集、分析、結果の考察、論文執筆にいたる一連の過程である。それらを担当教員の支援を受けながら遂行していく。多くの授業時間外の学習や努力が学生に要求される。

551404 4 年次演習（社会コミュニケーション）Ⅱ

【到達目標】

- ・学術論文の論理的構成と形式を理解し、執筆の方法を身につける。
- ・研究成果のまとめとプレゼンテーションの技法を身につける。

【概要】 「4 年次演習（コミュニケーション）」では、個々の学生の卒業研究と連動させながら、演習が行われる。「4 年次演習（コミュニケーション）Ⅱ」の期間に、実証データの収集の後、分析、結果の考察、論文執筆、繰り返し加筆修正を行うという一連の過程が行われる。これらを担当教員の支援を受けながら遂行していく。多くの授業時間外の学習や努力が学生に要求される。学術論文の論理的構成と形式を理解し、研究成果をまとめ、説得的にプレゼンテーションする表現技法も身につける。

551405 社会コミュニケーション実習Ⅰ

【到達目標】

- ・社会コミュニケーション分野における社会調査の意義を理解する。
- ・社会調査を計画立案する力をつける。
- ・社会調査の計画立案および実施の実際を体得する。

【概要】 本授業では、社会コミュニケーション分野において社会調査を行う意義、個々の領域での調査方法の概要などについて、実習形式で学んでいく。まず、社会コミュニケーション分野における調査研究の基礎的な理念や方法、調査報告書などの先行研究を体系的に読み解くことから出発し、社会調査をめぐる基本的な考え方や社会調査をどうやって行っていくかについての方法論を確認した上で、実際に調査を行っていくための計画を立案し、調査票やインタビューガイド等を設計・作成する。

551406 社会コミュニケーション実習Ⅱ

【到達目標】

- ・（質的調査法について）聴き取り、観察、文書資料の解読などの実際を体得する。
- ・（量的調査法について）データ収集、集計、分析などの実際を体得する。
- ・調査結果を分析し、報告書を作成する力をつける。

【概要】 社会コミュニケーション分野における調査研究の理念、方法などの理解に基づき「社会調査実習Ⅰ」で立案された調査計画、設計された調査票やインタビューガイドをもとに調査を実施し、データ整理・分析を行う。採用する調査方法（量的調査法、質的調査法など）の特徴を理解し、調査対象の選定、調査の実施、コード化と集計、結果の解釈、報告書の作成などの実際について実習形式で学ぶ。自ら質問紙調査、聞き取り調査などを経験することで、社会調査の方法を卒業論文研究に用いるための準備とする。

■卒業論文

551501 卒業論文

【到達目標】

- ・学科での学びをもとに、研究テーマおよび問題提起を設定することができる。
- ・設定した問題について資料・文献等をもとにして仮説をたてることができる。
- ・仮説を検証するための適切な研究方法（調査や実験等）を計画・実施することができる。
- ・データを分析・考察し、得られた知見を研究論文として論述することができる。

【概要】 学生が自らの知的関心に沿って研究テーマおよび問題提起を設定し、資料・文献をもとに仮説を立て、これを調査・実験・実習等により検証して、明確な根拠とともに提示するという一連の営みを通じて、学士課程での集大成として論文を作成する。それまでに得た知見・能力を統合してこの営みにつなげるために発展演習において考察・議論に必要な力を養い、担当教員の個別指導と授業内外の討論を活かして各自論文執筆を進める。卒業論文提出後、複数の教員による口述試験を実施し、論文の審査を行う。